

2016.6.16 内閣府「健康で日本を元気に」シンポジウム

# 「Japan Model のすすめ」

- 日本の素晴らしさを生かす -

経済・財政一体改革推進委員会専門委員

東京大学政策ビジョン研究センター健康経営研究ユニット特任助教

医学博士 古井祐司

はじめに 超少子高齢社会・日本の海外に与えるインパクト

- 1 健康投資で社会が変わる“潮目” - 社会構造の大きな変化 -
  - ・日本企業のコスト構造は海外とはここが違った！
  - ・健康投資が経営に与える影響
- 2 日常動線で取組むことが“カギ” - なぜ企業,社会で取組むのか -
  - ・私たちが陥りがちな“罫”を知る(個々の努力だけでは解決しない)
  - ・仕事の動線,生活の動線を意識した取組がポイント
  - ・医療保険者による“データヘルス”の活用で次の一手が見える！
- 3 健康の産業化 - Japan Model を創造する好機 -
  - ・素材,ツールをソリューションにする！
  - ・日本ブランドの構築に向けて

おわりに 職場,地域での働き方改革

- ・仕事,子育て,介護のモチベーションが生産性をあげる！
- ・最期まで社会とつながる

以上